

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	オーラ J
公演団体名	オーラ J

内容
<p>1) まずは聴いてみよう 尺八について、構造や奏法などの簡単な説明をいたします。また、どのような音が出るのか少し演奏を聴いて頂きます。</p> <p>2) 本公演で共演する演目の指導 本公演で共演する演目の説明と準備をします。どういった指示の時に、どういった演奏(行動)をすればよいか、具体的に説明します。</p> <p>3) 楽器の鳴らしかた体験 こちらが用意した体験用尺八を体験してもらい、尺八に触れて親んでもらいます。尺八はなかなか音が出ない楽器です。しかし構造が単純ですので、楽器の他にペットボトルやコップなどが鳴らせれば、尺八を鳴らすこともできます。尺八以外にも身近にある色々なものを鳴らしてみ、音がなるか体験します。</p>

タイムスケジュール (標準)
1 コマ 45-50 分 3.4 時限を基本とし 2 コマ開催で調整するが、開始時間、1 コマの長さなど応相談。

派遣者数
主指導者 1 名 補助者 3 名

学校における事前指導
子どもたちには自然が発する音にどんな種類があるか考えてもらい、その中でも風雨についてどの様に聞こえるか、あらためて考えてみるようにご指導ください。それらの内容も含め、共演方法も事前にご説明いたしますが、実際の方法はワークショップ内の解説で指導いたします。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	オーラJ
公演団体名	オーラJ

演目
<ul style="list-style-type: none">・楽器の解説(尺八・篠笛・能管・龍笛などを紹介 20分)・鹿の遠音 古典(解説込 10分)・鶴の巣籠 古典(解説込 10分) 休憩(10分) <ul style="list-style-type: none">・子供のためのポップスメドレー(10分)・ソネット(I-Vより) 三木稔 作曲(10分)・Doldrums IIIb ～尺八と聴衆のための協奏曲～ 山本和智 作曲 (児童・生徒との共演プログラム 20分)

派遣者数
出演者 3名 スタッフ 1名

タイムスケジュール(標準)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9:00	9:00～10:00	13:00～14:30	10分	14:30～15:00	15:00

実施校への協力依頼人員
イス、テーブル等の借用のために1名程度。

演目解説

日本の伝統楽器である尺八は、古くから、自然と一体となる音色を持ち合わせていました。このコンサートでは、日本の風土に即した、日本固有の音色を感じてもらいたいと思います。

形態は独奏から三重奏までの尺八演奏を主としますが、一部では篠笛などの他の伝統管楽器も使用します。尺八本来の持つ豊かな音色と、迫力のある演奏を三人の尺八奏者が演奏します。また、鑑賞の補助として視聴覚資料(プロジェクター使用)を用いた解説を併用し、コンサートをわかりやすく進行します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

子どもたちには、「DoldrumsⅢb～尺八と聴衆のための協奏曲～」という曲に参加してもらいます。難しそうなタイトルですが、参加方法は簡単です。この曲はもともと観客が参加して、舞台上の尺八と一緒に演奏し、楽曲を作り上げる形式になっています。観客は自然(風雨)の音を、リコーダー・尺八などの管楽器や、紙・クリアファイルなどの身近なもので発生させて演奏に参加します。指揮者の指示、尺八の演奏に合わせて演奏しますが、どのような音を出すかは各奏者(聴衆)に委ねられます。

事前のワークショップにおいて指示の見方や、演奏の方法を説明いたします。演奏する楽器も、リコーダーやハーモニカなどが用意できる場合はそれらを使用します。用意が難しければクリアファイルや紙を使用します。高学年はリコーダー、低学年は紙など混合にしたり、希望者には尺八を吹いてもらうなど、色々な形態に合わせて参加していただけます。

児童生徒とのふれあい

ワークショップでの指導を通じてのふれあいの他に、WS、本公演で時間が許されれば、司会者、演奏者によるトークや質問などによってふれあいを図ります。また学校側で時間的余裕があれば、個別に指導や質問を受ける時間も設定できます。

